



認証番号 0009920

エコアクション21 環境活動レポート

対象期間：平成27年度
平成27年7月1日～平成28年6月30日
発行日：平成28年10月1日



【角島大橋】



株式会社 宇部セントラルコンサルタント
～ 豊かな未来の自然環境を創る～

目次	1
組織の概要	2
事業の概要	3
環境方針	4
実施体制	5
平成27年度の活動計画	6

目次	次
平成27年度環境目標と実績	8
平成27年度取組結果と評価	9
教育・訓練	22
環境関連法規遵守状況・違反・訴訟の有無	23
代表者による全体評価と見直しの結果	24
おわりに	25



【角島大橋】

場所：山口県下関市豊北町

橋長 1,780m

2000年（平成12年）11月3日開通

角島大橋は、山口県下関市豊北町の西北1.5kmの響灘に浮かぶ角島と本土とを結ぶ橋長1,780mの長大離島架橋である。架橋地点は、北長門海岸国定公園に指定された豊かな自然環境と美しい自然景観に恵まれたところである。橋の景観設計は、周辺環境との調和と融合をコンセプトとし、橋が見える位置を水平線より低くし景観に溶け込ませたり、途中の鳩島を大きく迂回するルートにするなど、海や島が主役の自然景観を眺望できる開放的な空間が演出されている。これらの取り組みが評価され、2003年（平成15年）土木学会デザイン賞優秀賞受賞を受賞している。開通後は、その景観の美しさからテレビコマーシャル（主に車）のロケ地として数多く採用され、「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」（2013年7月調査）で3位にランキングされている。



組織の概要

会社名	株式会社宇部セントラルコンサルタント		事業登録	測量業	第（１２）－３２２５号		
代表者名	代表取締役 植田 敏史			地質調査業	質 ２４ 第 １３６ 号		
所在地	本 社	山口県宇部市大字中野開作 67 番地		事業規模	計量証明事業	第 １３０ 号	音圧レベル
	T E L	０ ８ ３ ６－４ １－６ ８ ６ ６				第 １３１ 号	振動加速度レベル
	F A X	０ ８ ３ ６－４ １－２ ３ ４ ５	資本金		１， ０ ０ ０万円		
	H P	http://ube-central.jp	売上高		３億 ７ ６ ５万円		
	E－m a i l	info@ucct.co.jp	従業員数		２ ９ 名		
環境管理責任者 及び担当者	責任者	総務部 清水みつ子	認証・登録の 対象範囲 (全組織・全活動)	述べ床面積	本社	５ ４ ３㎡	
	担当者	総務部 江原智恵子		対象事業所	本社		
事業登録	建設コ ンサル タント 業	建 ２ ６ 第 ８ ２ ９ 号		対象活動	建設コンサルタント、 地質調査、 測量、計量証明事業		
		河川、砂防及び海岸・海洋部門					
		鋼構造及びコンクリート部門		対象期間	第 47 期： 平成 ２ ７ 年 ７ 月～平成 ２ ８ 年 ６ 月		
		土質及び基礎部門					
		建設環境部門					

[目次へ戻る](#)



事業の概要

建設コンサルタント部門	<p>道路設計／都市計画設計／河川・砂防設計／ 急傾斜崩壊・地すべり防止対策設計 農業土木設計／上下水道設計／公園設計／橋梁等構造物設計 http://ube-central.jp/publics/index/30/</p>
測量部門	<p>道路路線測量／河川測量／地形測量／港湾測量／深淺測量／ 用地測量／GPS測量／基準点測量 水準測量／確定測量／建物等補償調査／交通量調査 http://ube-central.jp/publics/index/34/</p>
地質調査部門	<p>土質・地質調査／地盤・構造物基礎に関する調査／ 地すべり調査・解析／土砂災害警戒区域等に係る基礎調査／ 長寿命化工事に伴う橋梁点検／物理探査／ 物理検層／ボーリング調査／室内土質試験／各種原位置試験 http://ube-central.jp/publics/index/35/</p>
環境部門	<p>水文・海洋調査／水質・土壌などの環境調査／騒音・振動測定解析／動植物種の生態系調査 環境影響評価／自然再生事業／ビオトープ計画 http://ube-central.jp/publics/index/37/</p>

[目次へ戻る](#)



環境方針

＜基本理念＞

私たちは、建設コンサルタント業を主体とした事業所として、環境調査や地域の風土を活かした環境整備計画・設計などの技術によって、人と自然が共生しあい、持続可能な地球環境の保全・創出に貢献し、豊かな未来を構築していきます。

また、企業活動において、環境負荷の低減に努め、積極的な継続改善に努めます。

＜行動指針＞

1. 社員一同は、常に環境配慮の意識を持った業務の実施に努めます。
2. 環境負荷低減における取組として、二酸化炭素等の温室効果ガス抑制となる電気、ガス、ガソリン、水道水の削減、一般廃棄物（紙類等）の削減及び再利用に努めます。
3. グリーン購入を優先させます。
4. 環境配慮設計や社会資本ストックの延命化に関する最新技術の習得・提案を実施します。
5. 環境関連法規制に遵守し、継続的に環境改善に努めます。
6. 会社周辺の道路や河川の清掃活動等の環境保全活動に積極的に参加します。
7. 環境方針を全従業員に周知徹底し、環境活動レポートなどにより公表します。

制定 平成27年4月1日

株式会社 宇部セントラルコンサルタント

代表取締役 植田 敏史

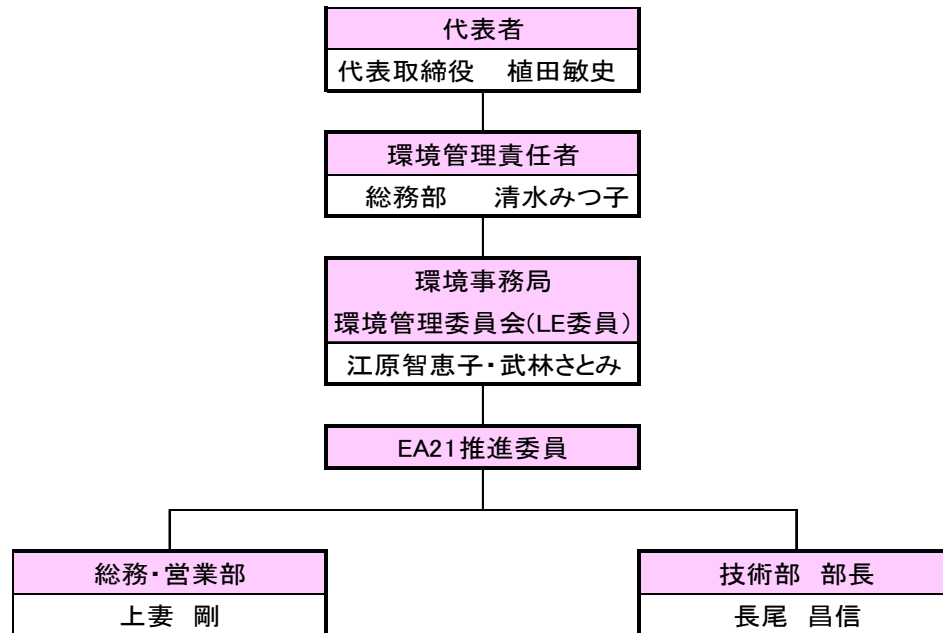


[目次へ戻る](#)



実施体制

＜ 1 ＞ 実施体制



＜ 2 ＞ 代表者

- ◆ 環境経営に関する統括責任
- ◆ 環境方針（基本理念・行動指針）の制定
- ◆ 環境管理責任者・環境管理委員・推進委員の任命
- ◆ 環境目標の承認
- ◆ 環境経営システムに必要な設備・費用等の資源準備
- ◆ 環境活動の評価と是正確認

＜ 3 ＞ 環境管理責任者

- ◆ 環境事務局・E A 2 1 推進委員会の運営
- ◆ 環境経営システムの運営・管理
- ◆ 環境関連法規の情報収集・確認
- ◆ 環境活動の取組結果を代表者へ報告

＜ 4 ＞ 環境事務局

- ◆ 環境目標の実施及び報告
- ◆ 環境管理責任者の補佐

＜ 5 ＞ E A 2 1 推進委員

- ◆ 環境目標の実施・運用・管理
- ◆ 環境活動の取組の記録
- ◆ 環境事務局への報告

[目次へ戻る](#)



平成 27 年度の活動計画

※黒文字は平成 25 年度より継続中

※青文字は平成 27 年度重点目標

<p>＜ 1 ＞ 二酸化炭素排出量削減の主な取組</p> <p><u>ア) 電気使用量の削減</u> (平成 25 年度より継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節する ②不要箇所の照明の消灯（昼休み・残業時・外出時） ③空調は必要な区域や時間に限定して使用する ④室内の設定温度を決め、クールビズ・ウォームビズによりエアコンを使用する ⑤使用していない機器類の電源 OFF（OA 機器、パソコン、エアコン） ⑥電化製品（電気ポット、コーヒーマーカー）の使用は、必要最小限にとどめる ⑦トイレ、土質試験室、倉庫の不使用时の電源 OFF ⑧自動販売機は省エネタイプに交換する 	<p>(平成 27 年度の重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨エアコンフィルター清掃の徹底 ⑩総務事務所・会議室のエアコンを省エネタイプに交換 ⑪仕事の効率化を図る（時間外労働削減・NO 残業 Day の設定）
<p><u>イ) ガス使用量の削減</u> (平成 25 年度より継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①シャンプー時は蛇口を締めて使用する ②試験器具や測量機器の洗浄は、極力泥を落としてから行う 	<p>(平成 27 年度の重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ③夏期は、給湯器を使用しない ④冬期は、給湯器の温度を低めに設定する
<p><u>ウ) ガソリン使用量の削減</u> (平成 25 年度より継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全運転・エコドライブの徹底 ②車内の整理・整頓（不用物を積載しない） ③走行距離・燃費の測定結果の情報共有 	<p>(平成 27 年度の重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ④効率的な車両運行の徹底 ⑤車両購入時は、HV 車・燃費の良いガソリン車等環境負荷の低い車種の選定
<p><u>エ) 廃棄物排出量の削減</u> (平成 25 年度より継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①両面・集約印刷を行う ②裏紙の再利用促進 ③必要最小限部数の協議資料の印刷 ④社内向けの広報は、デスクネットに掲載する ⑤広報は極力、パソコンの画面上で閲覧する 	<p>(平成 27 年度の重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ノーペーパーによる会議の実施（パワーポイントの利用） ⑦ミス印刷の防止（書類チェック）



<p><u>オ) 総排水量の削減</u> (平成25年度より継続)</p> <p>①トイレ使用時は、日常的に節水を行う ②機材の洗浄は、極力、泥を落として行う ③シャンプー時は、垂れ流しを極力避ける ④食器等の洗浄は、垂れ流しを極力避ける</p>	<p>(平成27年度の重点項目)</p> <p>⑤節水の意識を持って継続する</p>
<p><u>カ) グリーン購入の推進</u> (平成25年度より継続)</p> <p>①文具・事務用品 ②コピー用紙・図面用紙 ③防災・備蓄用品(電池など)</p>	<p>(平成27年度の重点項目)</p> <p>④資材(業務関係の購入物)</p>
<p><u>キ) 環境に配慮した設計</u> (平成25年度より継続)</p> <p>①施設の延命化を図った提案 ②自然環境にやさしい設計の提案 ③土工収支のバランスを考慮した設計の提案 ④生活環境(騒音・振動、粉じん)に配慮した施工計画の提案 ⑤生態系環境(動植物)に配慮した施工計画の提案 ⑥業務を通じた地域の環境美化活動</p>	<p>(平成27年度の重点項目)</p> <p>⑦業務を通じた地域の環境美化活動</p>
<p><u>ク) 会社周辺の清掃及び環境保全活動</u> (平成25年度より継続)</p> <p>①ゴミ拾いを行う ②会社周辺の草刈り作業を行う</p>	<p>(平成27年度の重点項目)</p> <p>③協会行事の清掃活動に参加する</p>

[目次へ戻る](#)



環境目標と実績											
環境目標		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			中長期目標		
			基準年度	実績	実績	目標	実績	評価	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	CO ₂ 総排出量	トン-CO ₂	85.74	89.50	80.20	79.40	82.44	✕	96.0%	95.5%	95.0%
			100%	(104.4%)	(93.5%)	(92.6%)	(96.15%)				
	電力使用量	k w	69,562	70,720	56,766	56,198	54,761	○	80.5%	80.0%	79.5%
			100%	(101.7%)	(81.6%)	(80.8%)	(78.7%)				
	ガス使用量	m ³	48.8	33.5	27.1	26.8	26.1	○	54.5%	54.0%	53.5%
			100%	(68.7%)	(55.5%)	(55.0%)	(53.5%)				
	社用車（ガソリン）使用量	ℓ	17,201	18,506	16,940.0	16,771.0	18,524.0	✕	100.0%	99.5%	99.0%
			100%	(107.6%)	(98.5%)	(97.5%)	(107.70%)				
	社用車の燃費向上	ℓ/km	実測なし	15.0	15.3	15.5	16.8	○	103.5%	104.0%	104.5%
				H25年度実績	(102.0%)	(103.0%)	(112.0%)				
	一般廃棄物の削減 (OA・図面用紙)	トン	1.129	1.336	1.563	1.547	1.250	○	136.5%	136.0%	135.5%
			100%	(118.3%)	(138.4%)	(137.0%)	(110.7%)				
	上水使用量の削減	m ³	380	376	366	362	337	○	95.0%	94.5%	94.0%
			100%	(98.9%)	(96.3%)	(95.3%)	(88.7%)				
	グリーン購入の推進	品	32品	35品	77品	77品	41品	✕	+5品	+5品	+5品
				+3品	+45品	+45品	+9品				
	環境に配慮した計画・設計の推進	業務数/業務の総受注件数	11/35件	10/28件	14/25件	環境・設計受注件数の	14/28件	○	環境・設計受注件数の	環境・設計受注件数の	環境・設計受注件数の
			3割	3.5割	5割	3割以上	5割		3割以上	3割以上	3割以上
	会社周辺の清掃及び環境保全活動	実施回数	1回/年	6回/年	7回/年	7回/年	8回/年	○	7回/年	7回/年	7回/年

(注)

※ 基準年度 緑文字 ・ 目標達成比率 青文字 目標未達成比率 赤文字

※ 電力の排出係数は、中国電力の平成25年度の排出係数：0.7190Kg-CO₂/KWhを適用しました。

※ 化学物質使用量は、当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標に掲げません。

[目次へ戻る](#)



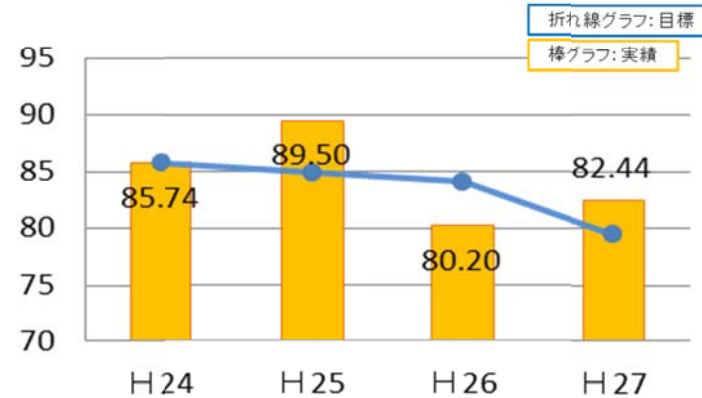
平成27年度の取組結果と評価



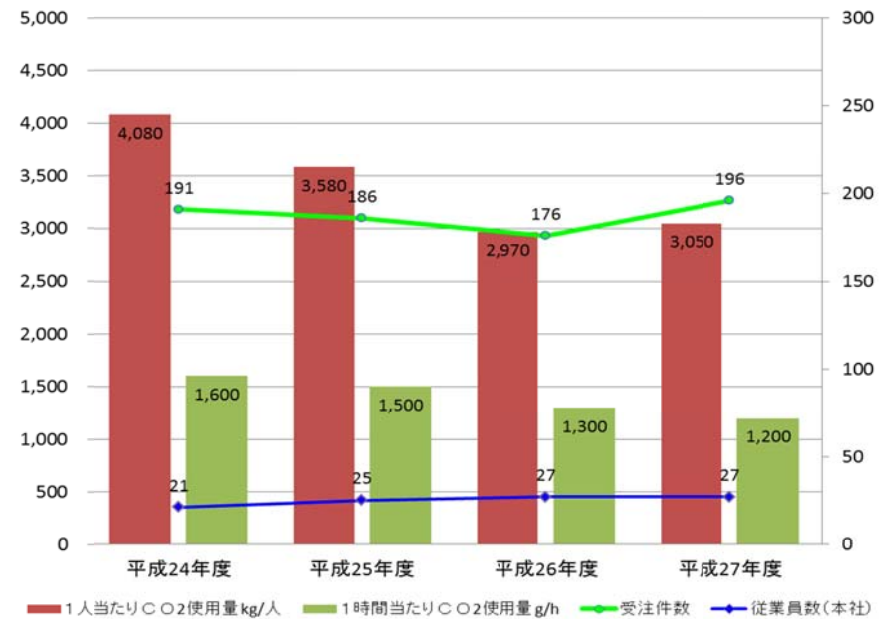
CO2 総排出量



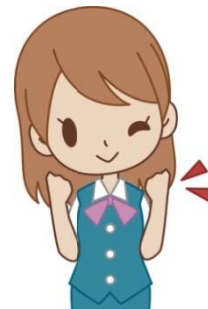
CO2総排出量の削減



CO2の1人当たり・1時間当たり使用量

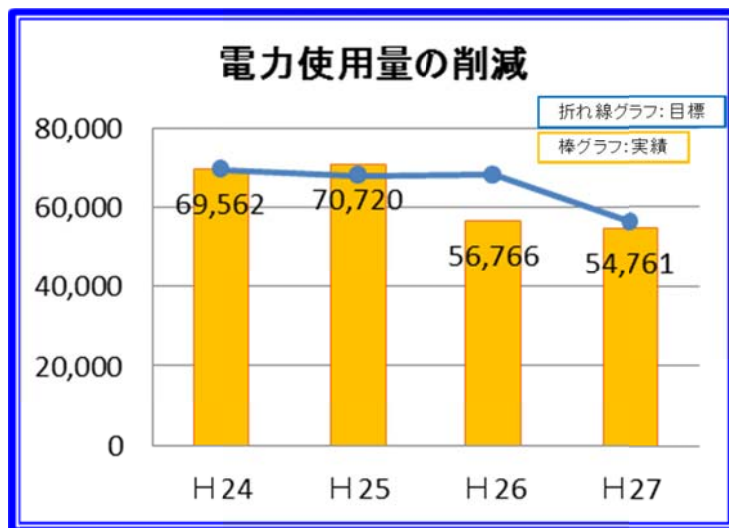


今年度は受注件数と業務量が増加したためCO2も増加したと考えられます。目標より3.5%増加してしまいました。1人当たりのCO2使用量も昨年より80kg増加しました。



ただし、従業員数は基準年度より6名増員しています。受注件数も基準年度より増加していますが、1時間当たりの使用量は毎年削減できています。





総務事務所の室外機は、南西方向に向いている為、夏場は直射日光が当たります。

対策として日除け用に差し掛けを設置しました。

冷却効率1割アップが期待できます。

【会議室エアコン】

额定功率 (kW) (注1)	[冷]	4.5 / 5.0
	[暖]	5.0 / 5.6
		(6.35/6.95)
额定压缩能力 (kW)		3.6 (4.95) / 4.0 (5.35)
额定电压 (注2)		三相 200V 50/60Hz
额定电流 (A)	[冷]	6.3 / 7.3
	[暖]	6.1 / 7.0
		(10.0/10.9)
额定容量 (kW)	[冷]	1.88/2.27
	[暖]	1.82/2.18
		(3.17/3.53)
1	[冷]	85/90



仕 様 表		
電 源		電 源 ・ 三相200V
電	周 波 数	Hz
冷 房	定格冷凍標準消費電力	4.8(1.8~8.0)
	定格冷凍標準消費電力	1.06
	冷凍回路電流	3.1
	冷凍回路電圧	91
	定格冷凍標準時の熱効率	0.80
	中間冷凍標準能力	2.1
	中間冷凍標準消費電力	0.316
	中間冷凍中温能力	2.2
	中間冷凍中温消費電力	0.246
	最小冷凍中温能力	1.8
最小冷凍中温消費電力	0.208	
定格標準	定格標準消費電力	5.0(1.8~8.0)
	定格標準消費電力	1.17
	標準回路電流	3.7
	標準回路電圧	91



今年度は気温の変動が大きく
冬期には大寒波がありました。

- ①新調査倉庫にLED防犯灯を設置、社員の業務中や通勤時の安心・安全配慮を重視しています。
- ②総務事務所・会議室のエアコンを省エネタイプに交換工事しました。
- ③総務事務所の室外機には、日除けの差し掛けを設置しました。

上記の取組により目標より21%削減できました。

会議室エアコン2台・総務事務
所エアコンを交換工事しまし
た。約50%削減できるようにな
りました。

今後の削減率が期待できます。

空調機フィルターの定期清掃

空調機及び電気スイッチの管理者の一覧				
平成27年度 空調機のフィルター清掃 当番表(年2回)				
2F 技術部	平成27年12月	実施日	平成28年6月	実施日
設計測量課	エアコン1	大谷裕子	片山一雅	
調査環境課	エアコン2	武井さとし	根本 剛	
調査環境課	エアコン3	中村理恵	上岡洋祐	
設計測量課	エアコン4	高岡 明	津田利扶	
設計測量課	換気扇	表川義一	白石雅智	
調査環境課	換気扇	根本 剛	岸本 達也	
1F総務・営業部	平成27年12月	実施日	平成28年6月	実施日
応接室	エアコン1	清水みづ子	園光友紀	
総務課	エアコン2	大村康朗	清水みづ子	
営業課	エアコン3	岡田幸二	上奥 剛	
会議室	エアコン4	片山一雅	長尾昌隆	
会議室	エアコン5	園光友紀	沖野俊和	
社長室	エアコン6	植田敏史	江原智恵子	
土質試験室	エアコン7	上岡洋祐	岩本大樹	

2階の電気の管理者(スイッチON、OFF)		
2F 技術部	担当者	スイッチ番号
調査環境課	中村理恵	5から10
調査環境課	武井さとし	1から4と11
設計測量課	大谷裕子	1から5と8
設計測量課	津田利扶	6、7と9から13

1階の電気の管理者(スイッチON、OFF)		
1F 総務・営業部	担当者	対象スイッチ
総務課	江原智恵子	事務所、玄関、台所、応接室
営業課	江原智恵子	中側、ロッカー側、ロッカー照明
会議室・階段	清水みづ子	会議室、階段
会議室	池本二朗	会議室の各スイッチ
社長室	植田敏史	社長室の各スイッチ
男子トイレ	各自・清水みづ子	トイレ
女子トイレ	各自・清水みづ子	トイレ
土質試験室	岩本大樹	土質試験室の各スイッチ



空調機及び電気スイッチの管理者の一覧				
平成27年度 空調機のフィルター清掃 当番表(年2回)				
2F 技術部	平成27年12月	実施日	平成28年6月	実施日
設計測量課	エアコン1	大谷裕子	片山一雅	
調査環境課	エアコン2	武井さとし	根本 剛	
調査環境課	エアコン3	中村理恵	上岡洋祐	
設計測量課	エアコン4	高岡 明	津田利扶	
設計測量課	換気扇	表川義一	白石雅智	
調査環境課	換気扇	根本 剛	岸本 達也	
1F総務・営業部	平成27年12月	実施日	平成28年6月	実施日
応接室	エアコン1	清水みづ子	園光友紀	
総務課	エアコン2	大村康朗	清水みづ子	
営業課	エアコン3	岡田幸二	上奥 剛	
会議室	エアコン4	片山一雅	長尾昌隆	
会議室	エアコン5	園光友紀	沖野俊和	
社長室	エアコン6	植田敏史	江原智恵子	
土質試験室	エアコン7	上岡洋祐	岩本大樹	

2階の電気の管理者(スイッチON、OFF)		
2F 技術部	担当者	スイッチ番号
調査環境課	中村理恵	5から10
調査環境課	武井さとし	1から4と11
設計測量課	大谷裕子	1から5と8
設計測量課	津田利扶	6、7と9から13

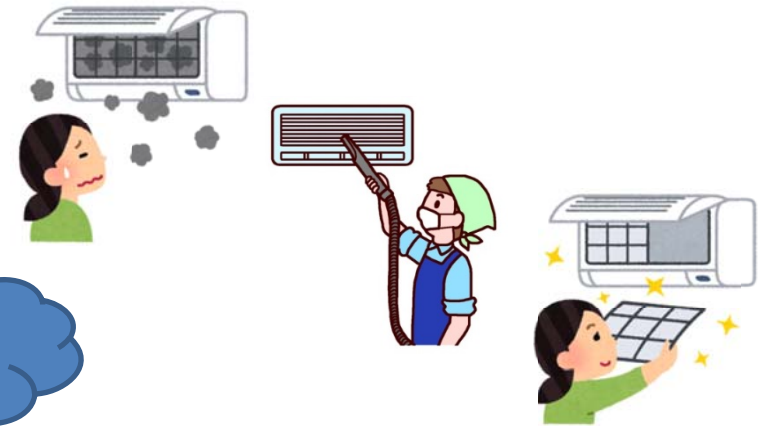
1階の電気の管理者(スイッチON、OFF)		
1F 総務・営業部	担当者	対象スイッチ
総務課	江原智恵子	事務所、玄関、台所、応接室
営業課	江原智恵子	中側、ロッカー側、ロッカー照明
会議室・階段	清水みづ子	会議室、階段
会議室	池本二朗	会議室の各スイッチ
社長室	植田敏史	社長室の各スイッチ
男子トイレ	各自・清水みづ子	トイレ
女子トイレ	各自・清水みづ子	トイレ
土質試験室	岩本大樹	土質試験室の各スイッチ

電気使用量削減の取組として、エアコンフィルターの定期清掃を年2回実施しました。
各箇所のフィルターの担当者及び電源スイッチの担当者を決め、一覧表を掲示して管理しています。

清掃は最低でも年4回が良いそうです。
次回からは年4回の一覧表を作成して実施していきます。



しっかり掃除
しようね



[目次へ戻る](#)



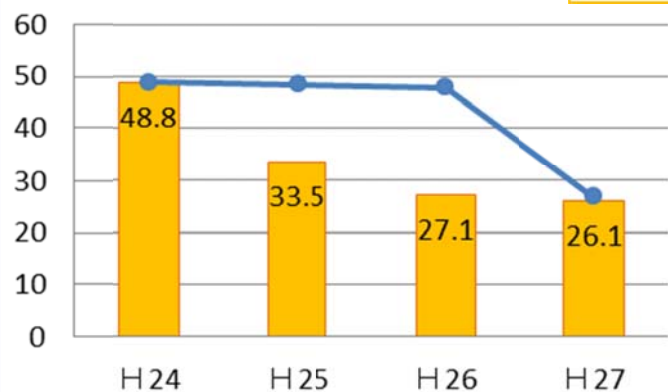


ガス使用量



ガス使用量の削減

折れ線グラフ: 目標
棒グラフ: 実績



- ①夏季には給湯器をしない。
- ②帰宅時に電気ポットの電源を抜く。
- ③朝の掃除時には電気ポットの残り湯を使用する。
- ④給湯器を使用する際には温度設定を低くする。

上記対策を重点的に取り組みました。
目標より1.5%も削減できました。

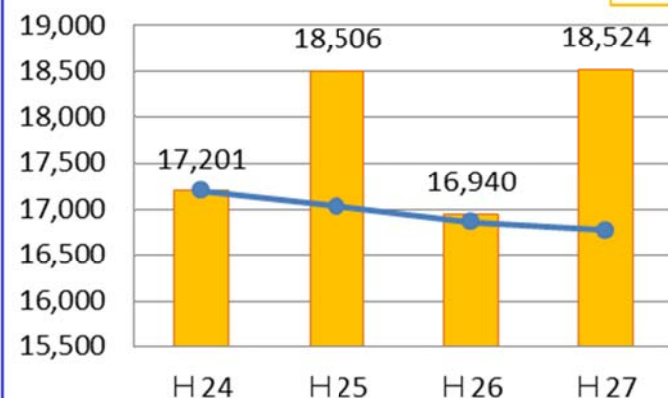


ガソリン使用量



社用車(ガソリン)の使用量の削減

折れ線グラフ: 目標
棒グラフ: 実績

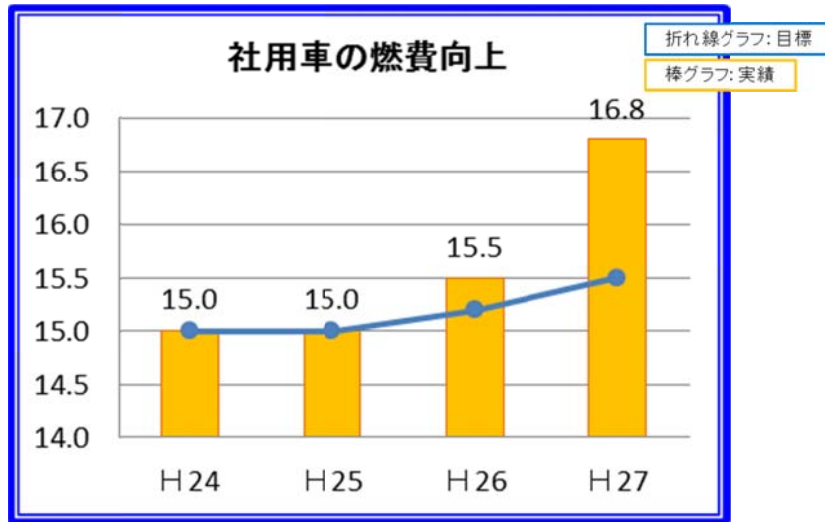


今年度は受注件数と業務量が増加した為、打合せ等社用車の使用が増加しました。
長距離運行が多かったことも原因として考えられます。

目標より10%も増加してしまいました。



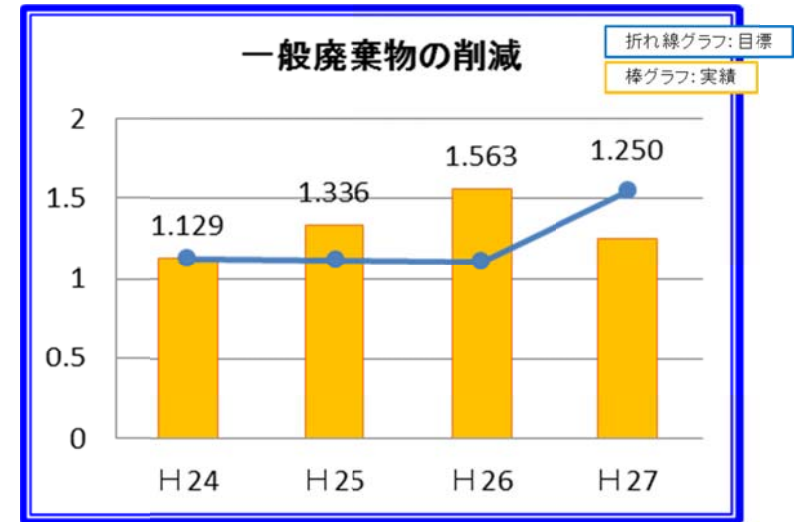
燃費向上



- ①社用車を2台HV車に買い替えました。
 - ②ガソリン車は2台省エネタイプに買換えました。
 - ③毎年「無事故・無違反コンテスト150」に参加。
 - ④社員全員がエコドライブを心掛けています。
- 上記の取組により目標より9%増加しました。
基準年度と比較すると12%増加しています。



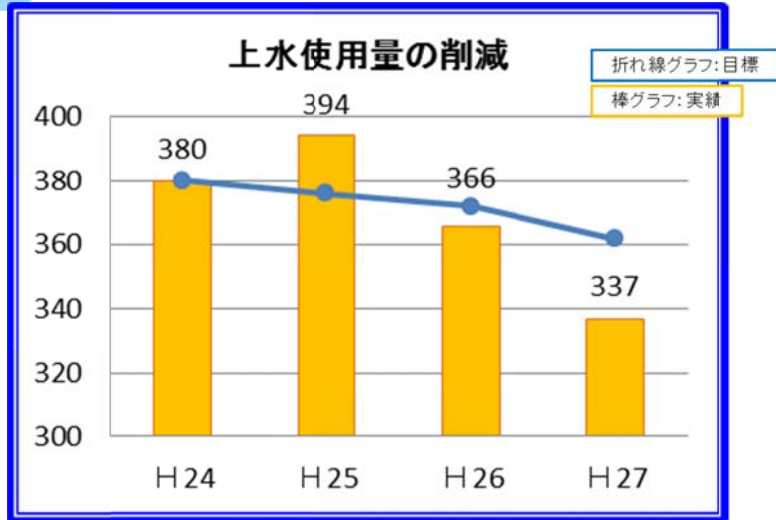
一般廃棄物の削減



- ①コピー用紙は両面印刷や縮小印刷する。
 - ②段ボール類は運送時の梱包がほとんど、業者に引き取ってもらう。上記の取組により削減に努めました。
- 今年度は業務量が増加予定だったので平成26年度実績より1%目標を高く設定しました。
今年度目標より26.3%削減できました。
平成25年度・26年度実績より削減できています。



上水使用量の削減

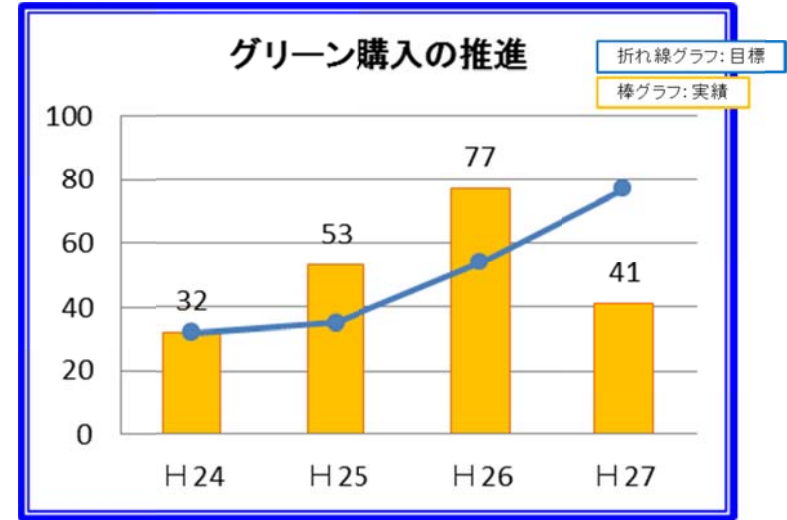


機材は現場で泥を落として持ち帰り、洗淨する・垂れ流ししない等、節水に取り組みました。

目標より6.6%も削減できました。



グリーン購入



毎年新規に購入したエコ商品のみをカウントしています。

* 平成24年度は32品

* 平成25年度は35品

* 平成26年度は77品も新規に購入しました。

* 今年度目標は昨年と同じ77品に設定しました。

今年新規に購入したエコ商品は41品でした。

基準年度からのエコ商品の累計は、185品になっています。

185品は継続購入しています。



環境に配慮した 計画・設計の推進

業務数	環境配慮の検討事項				環境配慮
	自然環境	生活環境	製品品質	延命化	
28件	3	1	2	8	14



目標は3割以上でしたが、
5割達成することができました。

当社は業務に必要な資格
取得の為に日々研鑽してい
ます。
顧客から絶対的に信頼さ
れる企業を目指し、顧客
や地域の皆様の為に有益
な提案をさせて頂いてい
ます。

■ 技術士(総合技術監理部門-建設-建設環境)	1名	■ 環境計量士(濃度関係)	1名
■ 技術士(建設部門-土質及び基礎)	1名	■ 環境計量士(騒音・振動関係)	1名
■ 技術士(建設部門-鋼構造及びコンクリート)	2名	■ 港湾海洋調査士(環境調査)	2名
■ 技術士(建設部門-建設環境)	1名	■ 2級ビオトープ計画管理士	3名
■ 技術士(応用理学部門-地質)	1名	■ 2級ビオトープ施工管理士	2名
■ 技術士(環境部門-環境保全計画)	1名	■ 生物分類技能検定	2名
■ 技術士補(建設部門)	3名	■ 公害防止管理者(大気関係第1種)	1名
■ 技術士補(応用理学部門)	2名	■ 公害防止管理者(水質関係第1種)	1名
■ 技術士補(農業部門)	2名	■ 公害防止管理者(水質関係第4種)	1名
■ 上級土木技術者(設計-メンテナンス部門)	1名	■ 公害防止管理者(ダイオキシン類関係)	1名
■ 上級土木技術者(環境-流域・都市部門)	1名	■ 公害防止管理者(騒音・振動関係)	1名
■ RCCM(河川、砂防及び海岸・海洋)	5名	■ 環境再生医	1名
■ RCCM(道路)	4名	■ 自然再生士補	1名
■ RCCM(下水道)	2名	■ 1級土木施工管理技士	7名
■ RCCM(農業土木)	3名	■ 2級土木施工管理技士	2名
■ RCCM(都市及び地方計画)	1名	■ 1級さく井技能士	1名
■ RCCM(地質)	6名	■ 2級さく井技能士	1名
■ RCCM(土質及び基礎)	2名	■ 1級ポンプ施設管理技術者	1名
■ RCCM(鋼構造及びコンクリート)	3名	■ 1級管工事施工管理技術士	1名
■ RCCM(施工計画、施工設備及び積算)	2名	■ 1級電気工事施工管理技士	1名
■ RCCM(建設環境)	3名	■ 1級造園施工管理技士	1名
■ コンクリート診断士	3名	■ 2級造園施工管理技士	1名
■ コンクリート主任技士	1名	■ 地すべり防止工事士	2名
■ コンクリート技士	1名	■ のり面施工管理技術者	1名
■ コンクリート中の配筋探査技術者	1名	■ 高所作業車運転者	5名
■ 道路橋点検士	2名	■ 2級小型船舶操縦士	3名
■ 農業土木技術管理士	2名	■ 潜水士	1名
■ 農業災害復旧専門技術者	1名	■ X線作業主任者	1名
■ 土地改良専門技術者	1名	■ 移動式クレーン運転士	1名
■ 土地改良換地士	1名	■ 小型移動式クレーン運転技能	3名
■ 畑地かんがい技士	1名	■ 小型車両系(整地等)特別	1名
■ 測量士	9名	■ 足場の組立等作業主任	1名
■ 測量士補	7名	■ 学芸員	1名
■ 1級水路測量(港湾級)	1名	■ 1級建設業経理士	1名
■ 地理空間情報専門技術認定 基準点測量1級	1名	■ 2級建設業経理士	2名
■ 地質調査技士	5名	■ 4級建設業経理士	1名

平成28年6月30日現在有資格者数

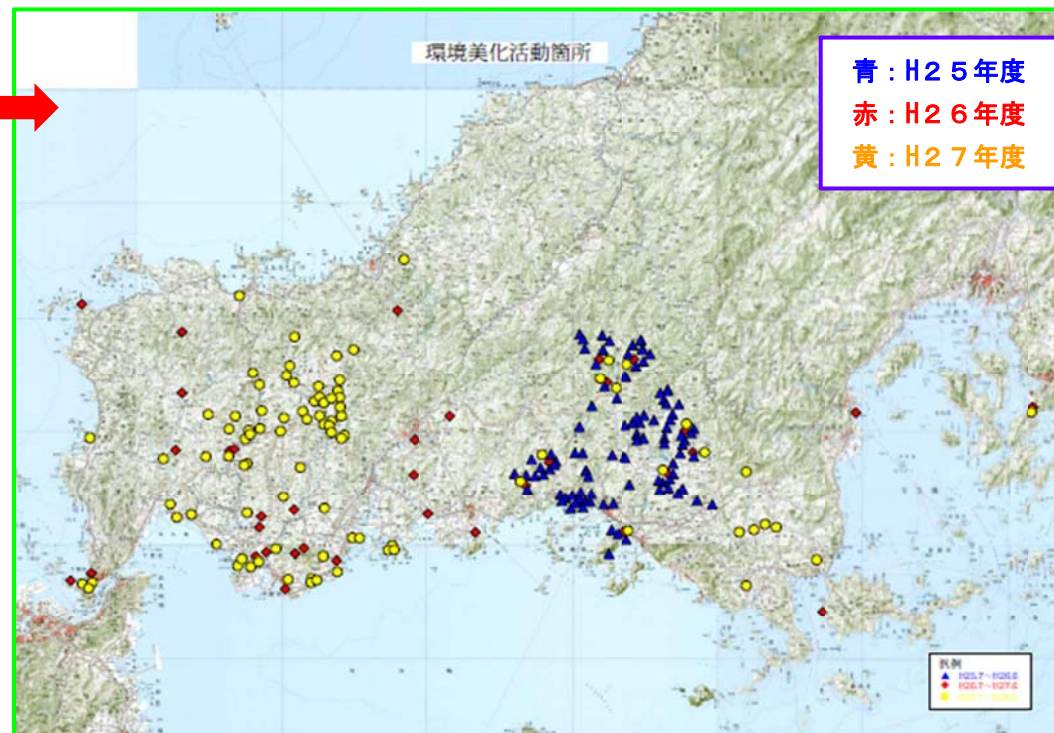
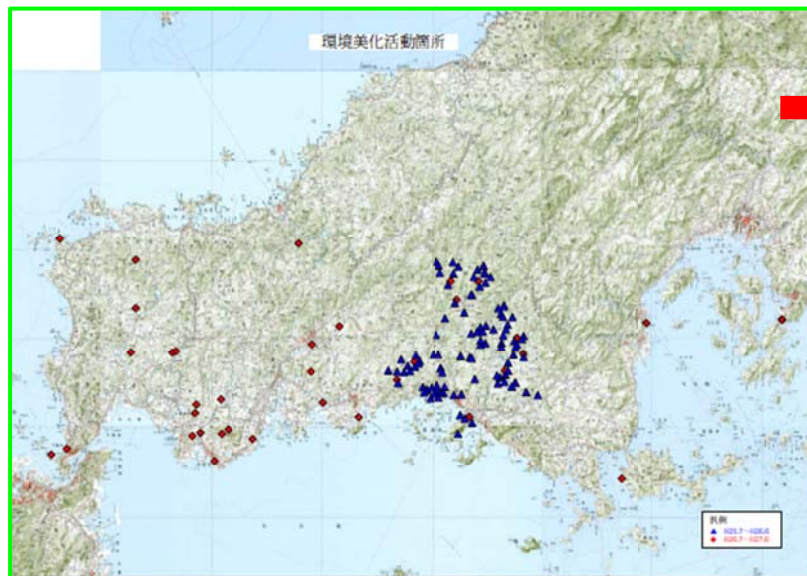
[目次へ戻る](#)





会社周辺の清掃及び環境保全活動

山口県内で実施した環境美化活動の場所



青：H25年度
赤：H26年度
黄：H27年度



- * 平成25年度は山口県東部の受注が多かったため、青色が東部に集中しました。
- * 平成26年度は山口県各所から受注があったため、赤色が点在しました。
- * 今年度は山口県東部にも点在していますが、山口県西部の受注が多かったため、黄色が西部に集中しています。



お客様の声

- ❖現場をきれいに清掃してくださり、ありがとうございます！
- ❖御社の清掃活動がきっかけとなり、他社にも広まることで、山口県の道路上からゴミがなくなるといいですね。
- ❖本来の現場作業が終わった後の清掃活動で大変ですが、これからもよろしくお願いします。



溝蓋の中も見逃さないぞ



交通量の多い現場でも



雨が降る現場でも

橋梁点検の高所作業車で、高い場所にもゴミがたくさんあるよきれいに掃除しよう



川の中のゴミも集めるよ



これからも現場作業でゴミを見つけると、一つでも二つでもゴミを収集することを続けていきます。



海岸の現場では少しの収集時間でもこんなにゴミがたくさん集まったよ



[目次へ戻る](#)



敷地境界線の環境美化活動

会社と周辺道路・境界の清掃
を実施しています



宇部市街頭美化活動



宇部市の街頭美化
活動証明書を頂き
ました



宇部市のHP
に掲載されま
した

平成28年8月の生育状況

(株)宇部セントラルコンサルタンツ(取り組み年数5年目)



銅鑼12株(敷地内花壇) 平成28年8月3日撮影

生育状况

およそ幅15メートル・高さ2.5メートル。

朝顔は可憐な植物でした。1m間隔で植えましたが、密集するほどではなく、可憐に咲いてくれます。

自然に発生した菌類も一緒に成長して嬉しいです。

来年はもう少し間隔を狭くして描きたいと思いました。

「富士の雲」、「富士の紅」、「紋りの花火」という品種を揃えましたが、とても美しく咲いています。

育成のための工夫

最初にしっかりと花壇を耕し、除草作業を行いました。肥料もたっぷり入れました。

強風対策のために丈夫な竹竿を調達したり、竹竿をみんなで協力して組み立てました。

さらにブロックを置いてロープでしっかりと固定し、倒れないように対策しています。

今年は昨年の3倍の広さに拡張しました。

毎日水やりをしたり、肥料を追肥したり、一週間に一度、液肥を撒いています。

ツルが成長したら、ネットに巻きつけて全体に広がるように誘引しています。

効果・コスト

花や葉っぱの緑にもが癒されました。

昨年までは毎年ゴーヤを育てていましたが、今年はアンケートを取り、朝顔を植えました。

朝、出勤するとたくさんの朝顔がきれいに咲いている様子を鑑賞したり、写真撮影したりと社員が成長を感じていることがよく聞かれます。



草取りして肥料
をたっぷり入れ
よう



きれいに
咲いてね



エコキャップ・プルタブ運動



3年間、社内で飲んだエコキャップ
5590個・プルタブ6272個を収集しました。

❖エコキャップはポリオワクチン
8人分になります。

❖プルタブは車いす資金になります。

地元新聞に掲載されました。

これからもこの運動を継続していきます。

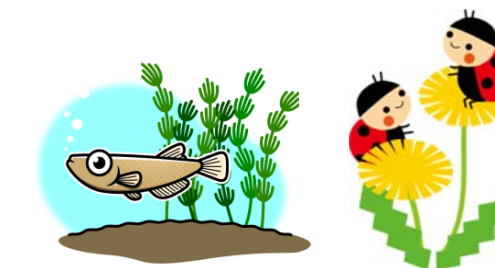


ビオトープ製作・ボランティア活動

福岡県の宇美小学校のビオトープ作りにボランティアとして
1年以上協力しています。
真冬・真夏に子供たちと一緒に池や小川を作りました。2学
期にはみんなで草取り作業もしました。



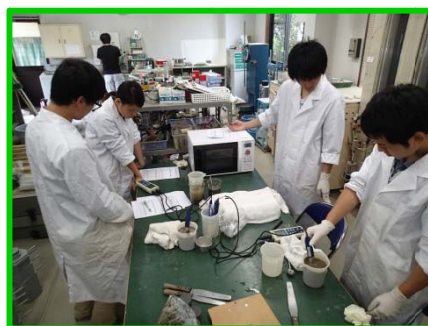
メダカやザリガニ
が住みついたよ



山口大学 J A B E E 教育 当社内にて



初日は講義
2日目は土質試験の実習
を行い、分析表まで作成し
ました



数値はどうか



初期消火避難訓練

しゃべらない もどらない



毎年1回、初期消火避難訓練を実施しています。

- ①ガスの元栓を閉じる
- ②敷地内の貸事務所へ火事を知らせる
- ③消火器を持って避難する
- ④トイレに職員が入っていないか声かけをして確認する

* 昨年の反省から①～③はできていました。

④のトイレの中の確認ができていなかったことが
今年の反省点でした。

次回の訓練では④を確実に実行できるように訓練
に反映させて実施します。

初期
消火



環境関連法規等の遵守状況・違反・訴訟の有無

法規等の名称	適用対象	該当する活動内容	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物及び粗大ごみ	産廃許可業者に委託 飛散防止対策、掲示板の設置	遵守
	産業廃棄物	産廃許可業者に委託 飛散防止対策、掲示板の設置 産業廃棄物管理票交付等状況報告	遵守
家電リサイクル法	再資源化等の実施	廃家電、廃パソコンの販売業者への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	再資源化等の実施	廃棄自動車の販売業者への引き渡し	遵守
消 防 法	消防用設備	消火機器、火災警報設備の点検整備 避難設備の適正維持管理	遵守
グリーン購入法	特定調達物品 事務用品 作業服	①必要性の考慮 ②製品・サービスのライフサイクルの考慮 ③事業者取組の考慮 ④環境情報の入手・活用	遵守
測 量 法	事業登録と配置	公共測量作業規程 公共測量作業規程準則	遵守
河 川 法	設計上、配慮すべき事項	①洪水、津波、高潮等による災害の発生が防止されること ②河川が適切に利用され、流水の正常な機能が維持されること ③河川環境の整備と保全がされるように総合的に管理することにより、国土の保全と開発に寄与し、公共の安全を保持し、公共の福祉を増進すること	遵守
自然再生推進法	設計上、配慮すべき事項	道路、河川、廃棄物最終処分場、埋立、土地区画整理など環境アセスメントが適用される工事の設計にあたり環境影響評価法を遵守した設計、計画書の策定を行うこと	遵守

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

[目次へ戻る](#)



代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は昨年に比較して**完成高が約14%アップ**し、就業時間も少し長くなりましたが、職員の意識の向上に加え、省エネ化を図った施設の導入により、電気、ガス、水道使用量などの減少や廃棄物の減少につながりました。その一方で、ガソリン使用量は車の台数の増加や遠方への業務移動も重なり、使用量は増加しました。この影響で、CO2 総排出量は目標値の 79.40 (トン-CO2) に対し、82.44 (トン-CO2) と増加しました。ただし、燃費は1ℓ以上も向上しており、この結果は、決して悲観する内容ではありません。トータルで評価すると、かなりの改善がみられ、引き続き、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めていきます。

次に、今年度は業務を通じて地域清掃活動やビオトープ創生などの環境保全活動、エコキャップ・プルタブ運動を通して世界の子供たちを救う活動にも力を入れました。このような活動が少しでも地域貢献できますよう、今後ともできる限りのことを推進していきます。

株式会社宇部セントラルコンサルタント

代表取締役 植田 敏史



おわりに

『エコアクション21』環境活動レポートは今年で3年目を迎えました。

読みたくなる工夫・読んでいて楽しくなる工夫・興味をそそる工夫・ホームページも見てみようと思える工夫等
どうしたらいいだろうと毎年工夫を重ねてきました。

社員みんなで協力して行ってきたボランティア活動や地域貢献。

業務を通して地域の皆様に還元できる方法を社員みんなでアイデアを出し合って行ってきました。

当社の環境活動を多くの方に知っていただき、当社ホームページへのリンク、目次クリックで該当ページへ、
また、各ページから目次へ移動できるよう設定する等、レポート作成を工夫しました。

当社の環境活動が同業者や地域のお業種の皆様に浸透してエコアクション21活動が広がっていけるよう
これからも発信し続けていきます。



株式会社 宇部セントラルコンサルタント
～ 豊かな未来の自然環境を創る～